

検証シートの見方と検証のポイント

資料 2-1

デジ田総合戦略施策・プロジェクト検証シート（令和7年度実績を踏まえて）

施策 1-1 水産・食産業の競争力強化

重要業績評価指標	単位	目標 (R09)	基準 (R04)	実績（計画期間）					達成率 (対R09)	進捗度
				R05	R06	R07	R08	R09		
①新規養殖事業の生産額	単	万円	1,200	0	637	31			2.6	C
②水産食料品製造品出荷額	単	億円	210	119	113	118			56.2	C
③新規漁業就業者数	累	人	30	1	7	15			50.0	B

※②の数値は、2年後に公表となることから、対象年度に把握した額を記載した。

■主要プロジェクトの重要業績評価指標 取組実績 成果

プロジェクト	重要業績評価指標等		単位	目標 (R09)	基準 (R04)	実績（計画期間）					達成率 (対R09)	進捗度
						R05	R06	R07	R08	R09		
111 水産加工原魚 等確保安定化 →第2期総合戦 略（継続）	①実証試験数	単	件	5	5	6	3	3			60.0	B
	②水産加工原魚転換 支援事業実施者数	累	件	13	4	1	1	4			30.8	C
	【取組実績】 ・県水産技術センターの指導の下、漁協が実施するアサリ養殖試験を支援し、アサリ養殖に関するデータの蓄積と課題把握に寄与した。 ・越喜来漁業協同組合と民間企業によるサーモントラウトの海面養殖試験の開始に向け、関係機関と連携しながら試験計画の策定を支援した。 ・イワシを加工原魚とした、嚥下食やつみれ製品といった高付加価値商品の試作開発を支援し、新たな魚種活用と商品開発が促進された。											
112 漁業担い手育 成・総合サ ポート	①沿海漁協正組合員 数	単	人	1,585	1,585	1,499	1,494	1,454			91.5	A
	②新規漁業就業者数	累	人	30	21	1	7	15			50.0	B
	【取組実績】 ・「意欲ある浜の担い手支援事業」により、新規漁業者の就労の就業を支援し、漁業担い手の確保につながった。 ・令和8年2月に東京で開催された「漁業就業支援フェスティバル2026冬」に大船渡市漁業就業者確保育成協議会として出展し、就業支援の取組について紹介した。 ・いわて水産アカデミー研修生1名が借上げた宿舍の家賃に対して補助金を交付した。											
・主要プロジェクトの進捗度や取組実績をもとに、3項目以内で記載しています。 ・「進捗度」や「取組実績」を踏まえた、適当な記載内容であるかを検証します。												

■総括（主要プロジェクトの進捗をもとに記述）

【No.111】
・新たに海面での魚類養殖試験が行われるなど、新規養殖試験の取組が進められている。
・加工事業者により、近年水揚げが増加傾向にある魚種を活用し、新商品開発などの取組が促進された。
【No.112】
・新規漁業就業者や、いわて水産アカデミー研修生を支援することにより、担い手の確保・育成に寄与した。

■進捗度評価

B

■理由

新規養殖事業の生産額は、事業者の生産調整の都合により、養殖トラウトの大部分を令和6年度中に出荷したため、令和7年度は一時的に減少した。新規養殖の実証試験については、事業採算性の向上や養殖技術の確立などの課題はあるものの、新たな魚類養殖の事業化に向けた取組が進められており、新規漁業就業者数も堅調に推移しているため。

・施策の重要業績指標の進捗度と主要プロジェクトの進捗度等を総合的に判断した評価を記載しています。
・「評価が妥当であるか、評価と「理由」の記載内容に齟齬がないか」を検証します。

基本目標検証シートの「施策ごとの進捗度評価結果へ」

課 題

新規養殖の事業採算性の向上や養殖技術の確立
新規漁業就業者の確保
水産加工業者が必要とする加工原魚の安定確保

今後の方向性

⇒ 新規養殖の事業化に向けた実証試験と生産物の販路開拓・販売促進への支援の継続
⇒ 新規漁業就業者への支援の継続
⇒ 漁船誘致による水揚げ増強対策の強化による加工原魚の確保及び加工原魚の魚種転換支援の継続

・「総括」と「進捗度評価」を踏まえ、課題を3項目抽出しています。
・「課題」に対する改善策や方策等を「今後の方向性」に記載しています。
・「課題」と「今後の方向性」が妥当であるか、「課題」に対して「今後の方向性」が適当かを検証します。

・「実績値」は、単年度で捉えるものと累計で捉えるものの2種類あります。
・「達成率」は目標値(R09)に対する直近(R07)の実績値の達成割合で算出しています。
・達成度に応じた進捗度を3段階で評価しています。
【単】A:達成率90%以上、B:達成率60%～89%、C:達成率59%以下
【累】A:達成率54%以上、B:達成率36%～53%、C:達成率35%以下

・施策にぶら下がる主要プロジェクトについて、令和7年度の取組に係る「取組実績・成果」を記載しています。
・「達成率」は目標値(R09)に対する直近(R07)の実績値で達成割合を算出しています。
・達成度に応じた進捗度を4段階で評価しています。
【単】A:達成率90%以上、B:達成率60%～89%、C:達成率59%以下、D:未着手
【累】A:達成率54%以上、B:達成率36%～53%、C:達成率35%以下、D:未着手
・達成度や進捗度と「取組実績」の記載内容に齟齬がないか、記載に不足がないか等を検証します。

・施策の重要業績指標の進捗度と主要プロジェクトの進捗度等を総合的に判断した評価を記載しています。
・「評価が妥当であるか、評価と「理由」の記載内容に齟齬がないか」を検証します。

基本目標検証シートの「施策ごとの進捗度評価結果へ」

・「総括」と「進捗度評価」を踏まえ、課題を3項目抽出しています。
・「課題」に対する改善策や方策等を「今後の方向性」に記載しています。
・「課題」と「今後の方向性」が妥当であるか、「課題」に対して「今後の方向性」が適当かを検証します。

検証シートの見方と検証のポイント

資料 2-2

デジ田総合戦略基本目標検証シート（令和7年度実績を踏まえて）

基本目標	1 大船渡にしごとをつくり、安心して働けるようにする	       
------	----------------------------	--

重要目標達成指標	単位	目標 (R09)	基準 (R04)	実績（計画期間）					達成率 (対R09)
				R05	R06	R07	R08	R09	
雇用・所得／地域幸福度 (Well-Being) 指標 指標趣旨：「十分な雇用 機会があるか」「適切な 水準の所得は得られる か」	単 客観 (偏差値)	59.56	59.56	59.60	59.50	59.50			99.9

地域幸福度（Well-Being）指標とは、地域の「暮らしやすさ」と「幸福感」を数値化・可視化し、自治体の政策評価やまちづくりに活用するための指標体系であり、デジタル庁が調査・公表しています。

重要目標達成指標の進捗度

A

- ・「実績値」は、単年度で捉えるものと累計で捉えるものの2種類あります。
- ・「達成率」は目標値(R09)に対する直近(R07)の実績値の達成割合で算出しています。

- ・達成度に応じた進捗度を3段階で評価しています。(A:達成率90%以上、B:達成率60%～89%、C:達成率59%以下)

施策ごとの進捗度評価結果

施策	評価結果	理由
1 水産・食産業の競争力強化	B	新規養殖事業の生産額は、事業者の生産調整の都合により、養殖トウラウトの大部分を令和6年度中に出荷したため、令和7年度は一時的に減少したものの、新規養殖の実証試験については、事業採算性の向上や養殖技術の確立などの課題はあるものの、新たな魚類養殖の事業化に向けた取組が進められており、新規漁業事業者数も堅調に推移しているため。
2 臨海型産業の誘致による産業集積の推進	A	コンテナ貨物取扱量と誘致企業数が目標を達成していることに加え、港湾利用企業数も増加傾向であることから、目標を概ね達成できる見込みであるため。
3 新産業創出と起業・第二創業支援	B	起業・創業数は目標を達成している一方で、新たに立ち上がった地域経済牽引型事業数が1件に留まっており、達成率が50%以下となっているため。
4 多様な働き方の促進と地域産業人材の育成	B	新規高卒就職者の管内就職率の目標に対する達成率は80.3%、一定の水準を確保しているものの、短期移住プログラム数の達成率は66.7%で低調に推移していることから、更なる取組の充実が必要であるため。

基本目標検証シートの「施策ごとの進捗度評価結果から移記

基本目標1の総合評価

B

- ・重要目標達成指標施策の進捗度と施策ごとの進捗度評価結果を総合的に判断した総合評価を記載しています。
- ・「評価が妥当であるか」を検証します。